

長野地区体育委員会

長野地区体育委員会は12の自治会より選出された32名の委員と地区行事实行委員4名による委員で構成されている。

行事の企画、立案は長野地区自治会で決定し、体育委員会は実行部隊として、体育祭の細部にわたる企画、並び運営、各種大会では準備から審判員等幅広くその役割を担っている。

地区自治会からは体育委員長として1名がこの実行部隊を統括している。

各自治会より選出された委員の任期は1年、委員長、行事实行委員には複数年をお願いしている。

地区最大の体育行事は長野地区体育祭であり、毎年5月に地区民2,000人以上の方が参加している。この行事には体育委員、行事实行委員、ボランティア並び各自治会役員、組長等多くの人達の協力により運営されている。

体育祭の華は小学生による自治会対抗のリレー、また各層から選出された自治会対抗リレーである。この時が最高潮となり体育祭を盛り上げている。その他、4種の体育大会を実施している。

4種の大会とは、ソフトバレーボール大会、インディアカ大会、ファミリーバドミントン大会、バドミントン大会である。

自治会ごとにチームを組んで、対抗戦を行い優勝を争う。公開練習日には各チーム優勝を目指し練習に励んでいる。

これらの大会には100名近い方が参加している。より多くの地区民が参加され更に盛り上がることを期待している。

体育行事は地区民の健康と親睦、コミュニケーションの向上等を目標に行ってきたが、ここ数年にわたり、地区体育祭が形骸化し選手集め、運営について多くの意見が寄せられているのも実情である。

地域の人達のコミュニケーションの場でもある地区体育祭の活性化が急務であるとともに、これに変わるものの検討も考慮されている。

各種大会も参加者の固定化がみられ大会そのものが地区をあげての大会とは言いがたい状況でもある。

今後長野地区自治会、長野地区体育委員会としてこれらの問題に取り組み、地区全体の連帯感の維持、向上を如何に図るかを検討するとともに、他自治会の好事例、取り組み、運営方法等の情報収集を行い参考にするとともに、地区民への幅広い企画提案を

求め、より良い方向づけを行いたい。

平成21年度長野地区体育行事計画

長野地区体育委員会	4月4日
体育祭準備	5月23日
長野地区体育祭	5月24日
ファミリーバドミントン担当者会議	6月6日
練習日	6月24日、25日、29日、30日
大会	7月5日
ソフトバレーボール担当者会議	7月4日
練習日	7月20日、21日、29日、30日
大会	8月2日
インディアカ担当者会議	10月16日
練習日	11月2日、3日、11日、12日
大会	11月15日
バドミントン担当者会議	11月21日
練習日	11月30日、12月1日、9日、10日
大会	12月13日



(文責 長野地区自治会長 松山捷利)